

電動可変焦点ドーム型ネットワークカメラ

CNM3CDZ1 屋外用 保護等級 IP67 相当

CNE3CDZ1

電動可変焦点バレット型ネットワークカメラ

CNM3CBZ1 屋外用 保護等級 IP67 相当

CNE3CBZ1

このたびは本製品をお買い上げいただきありがとうございます。
ご使用前に取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
本書は基本的な取り扱いのみ記載しております。詳しい内容については、下記の QR コードより取扱説明書（詳細）をご覧ください。

(注) この製品は犯罪防止システム品ではありません。空き巣、強盗、変質者の侵入等の犯罪による損失、損傷等が発生しても、当社は一切責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

Dサポート!(製品に関するお困りごとの解決!)および設定ガイド(製品の詳しい設定方法)をご利用ください

◆Dサポート!
https://qa.dxantenna.co.jp/faq_detail.html?id=1015

◆設定ガイド
https://www.dxantenna.co.jp/product/item/manualimg/CNM3CBF1.pdf

■安全上のご注意 お使いになる方や他の人々への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。本文中に使われている図記号の意味は、次のとおりです。

	一般的な 注意事項		一般的な 禁止事項		水ぬれ 禁止		機器の 分解禁止		接触禁止		ぬれ手 禁止		指示を 守る
	警告 誤った取り扱いをすると、死亡や重傷を負うなど大な結果に結びつく可能性があるもの												

- 異常があるときは、すぐに使用をやめる
次のような異常時は、放置せずに電源を切り、販売店・工事に連絡してください。
◇煙がでる、においがする
◇内部に水や物が入った
◇画面が映らない
◇接続ケーブルや外部が劣化
火災、感電、けが、故障の原因となります。
- 次の場所に設置しない
◇強度の不足する場所、不安定な場所
落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります
◇人や車両の通行の妨げになる場所
ぶつかったり、接触してけがや破損の原因となります。
◇直射日光の当たる場所、熱器具の付近や高温になる場所、湿気やホコリの多い所
火災や感電、故障の原因となります。
◇塩害や腐食性ガスが発生する場所
取付部が劣化し、落下によるけがや事故、故障の原因となります。
◇可燃性ガスの発生する場所
爆発によるけがの原因となります。
- 結露した状態で使用しない
故障の原因となります。
電源を止め、結露がとれた後に電源供給し直してください。
- 分解や改造はしない
内部の分解、改造や修理はしないでください。故障の原因となります。
内部の点検・調整・修理は、販売店にご相談ください。
- ぬれた手でさわらない
感電の原因となります。
- 定期的に点検する
取り付けが緩んだり、取付装置やネジがさびると、落下による破損、けがの原因となります。
- 設置、点検時は次のことに注意する
◇設置・配線・点検時は電源を切ってから行なってください。
感電やショート・誤配線による火災の原因となります。
◇足場と安全を確保し、強風、雨、嵐、雪、霧などの天候が悪い日や暗い所では、危険ですから設置工事や点検をしないでください。
落ちたり、倒れたりしてけがの原因となります。
◇本体や部品、工具類を落としたり、強い衝撃を与えないでください。
けがや故障の原因となります。
◇ケーブル類は正しく配置してください。
引っ掛けると落下や転倒によるけがや故障の原因となります。
◇組み立てや取り付けのネジやボルトは、締め付け力(トルク)指定がある場合はその力(トルク)で締め付け、堅固に固定してください。
落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。
◇台風の後や積雪の後などは、取付装置に緩みや異常が生じることがあります。
点検はお買い上げの販売店または工事ににご相談ください。そのままにすると破損して、けがや故障の原因となります。
◇カメラや取付装置などに乗ったり、無理な力を加えないでください。
落ちたりして、破損、けがの原因となります。
- 指定以外の機器・アクセサリは使用しない
指定品を確かめ、使用機器の取扱説明書もよくお読みください。
性能や形状が異なると、火災や故障、感電の原因となります。
- 雷が鳴り出したら本機や接続ケーブルに触れない
感電の原因となります。
- 無理な力を加えたり傷つけない
接続ケーブルなどを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、重いものをのせたり、加熱したり(熱器具に近づけたり)、引っばったりしないでください。
電源ケーブル、同軸ケーブルなどが傷んだときは(心線の露出、断線など)お買い上げの販売店もしくは工事に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電などの原因となります。

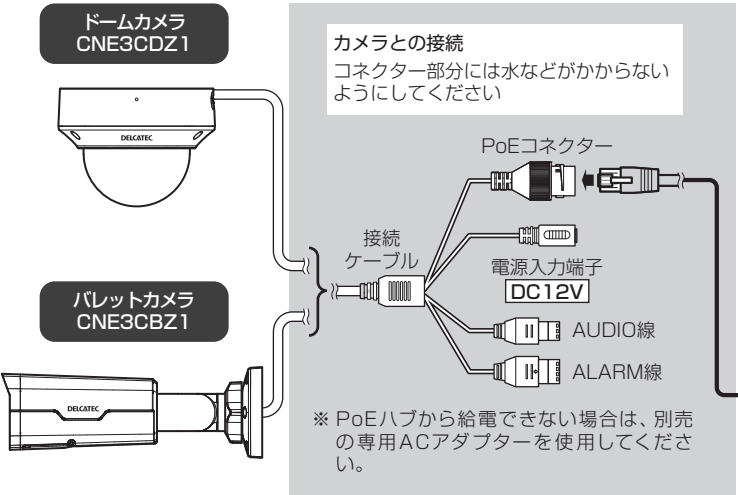
注意

誤った取り扱いをすると、傷害または家屋・家財などの損害に結びつく可能性があるもの

工事に関しては工事店などに依頼する
工事には技術と経験が必要です。
お買い上げの販売店や工事店にご相談ください。
火災、感電、けが、故障の原因となります。

お手入れのご注意
本体の汚れは、市販のクリーナーやベンジン、アルコール、シンナーなどは使わず、柔らかい布で軽く拭き取ってください。
樹脂が溶けたり、変形したり、変質、変色することがあります。

■接続のしかた（接続例）



■防水要件

ケーブルは以下の手順で防水処理を行ってください。
不十分な防水処理が原因で装置が破損した場合は、使用者がその一切の責任を負うものとします。

memo

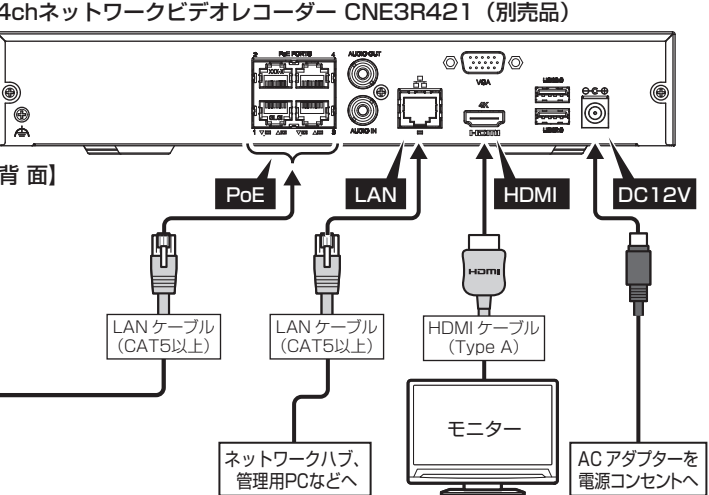
- はじめに、必要なケーブルをすべて接続します。オーディオ線、アラーム線を使用しない場合は、防水処理をしてください。
- LANケーブルの保護には防水加工をしてある部品を使用してください。また、電源ケーブルを使用しない場合は、付属のプラグを差し込んでください。
- 防水粘着テープでケーブル末端部や接続部を保護してください。

1 防水対策用部品セットの取り付け

1. ゴムリングを PoE コネクターの奥までしっかり取り付けます。
2. LAN ケーブルにキャップ(メス)を通します。
※ LAN ケーブルは必ずブーツ(保護カバー)の無いものをお使いください。
3. LAN ケーブルにキャップ(オス)を通し、PoE コネクターに LAN ケーブルを接続してから、PoE コネクターとキャップ(オス)の溝を合わせてしっかりと締め付けます。
4. キャップ(オス)とキャップ(メス)の間にスリーブを取り付けます。
※ スリーブには切れ目がありますので上から被せて通すことができます。
5. キャップ(オス)とキャップ(メス)をしっかりと締め付けます。
6. DCケーブルを使用しない場合は、電源入力端子の端子部分にプラグを差し込みます。
※ プラグは防水対策用部品セットの袋に入っています。
7. (オプション)防水処理が完了したら、ケーブルを防水ジャンクションボックス(別売)に入れます。

ご注意

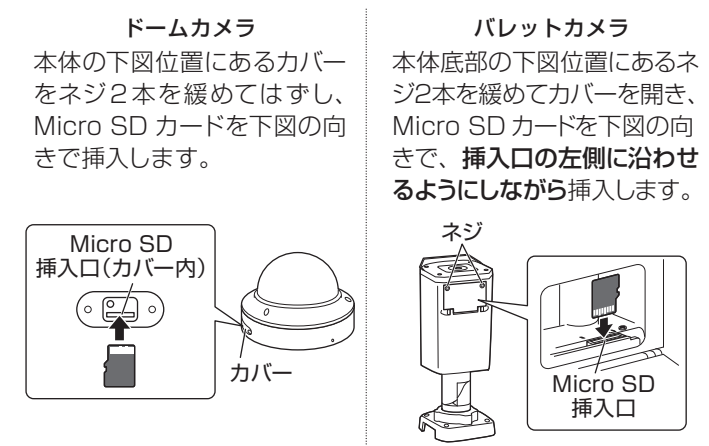
- ケーブルコネクターは露出させず、水に触れないようにしてください。
- 装置を取り外した後は元に戻して固定してください。
- 電源アダプターを配電ボックスに入れてください。



■設置のしかた

1 (オプション) SD カードの挿入

本カメラは Micro SD カードに対応しています。
Micro SD カードの挿入後はホットプラグをしないでください。
カメラや SD カードが破損する可能性があります。



ご注意

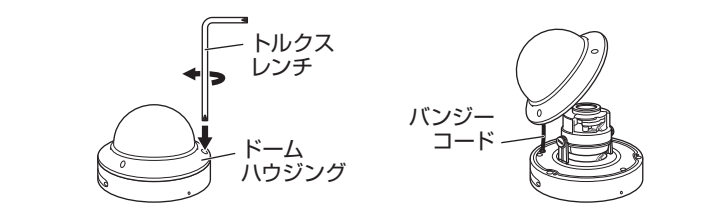
- ・MicroSD カードを挿入する際は、製品内に落とさないようくれぐれもご注意ください。万一取り出せなくなった場合は、販売店にご相談ください。
- ・屋外に設置している場合、夏季に本製品内部が非常に高温となるため、耐久性の高い microSD カードを使用することを推奨します。

memo

- SDカードを利用してできる機能や、本機が対応するSDカード等については、詳細マニュアルをご覧ください。

2 (ドームカメラのみ) ドームハウジングをはすす

本機を設置するにはドームハウジングを開ける必要があります。
付属のトルクスレンチで下図位置の3本のネジを緩めて本体からはすします。
※ネジはドームハウジングからはすれません。
※ドームハウジングと本体は落下防止のため、バンジーコードで繋がっています。

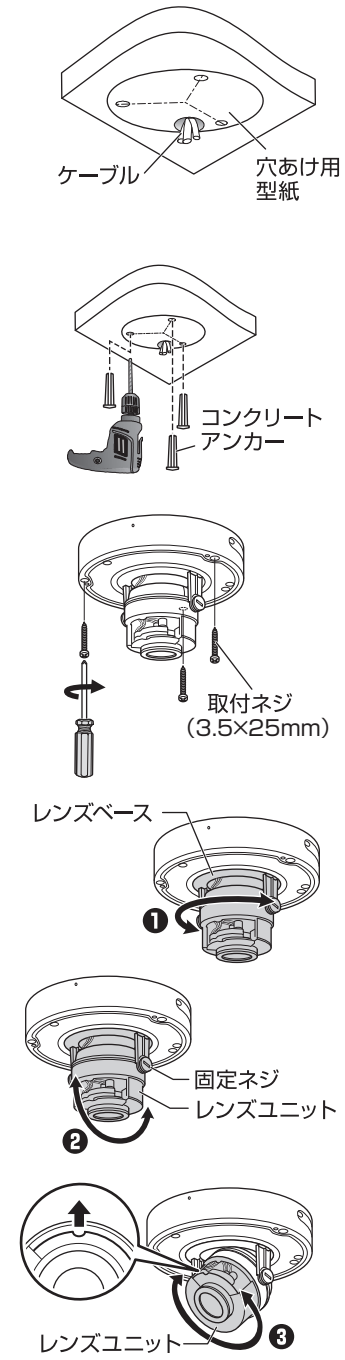


3 カメラの設置

以下は壁面取り付け、または天井取り付けの場合の設置例です。
取り付け面に、カメラの重量を支える強度が十分にあることを確認してください。また、ドリル等の工具類は事前に用意してください。

天井取り付けの場合

- カメラを取り付ける位置を決め、穴あけ用型紙を天井に貼り付けます。
カメラから出ているケーブルの位置に合わせて穴をあけ、ケーブルを通します。
※必要に応じてベースの切り欠きにケーブルを通して配線してください。
- 穴あけ用型紙の穴位置に、φ6～6.5mmのドリルで30mmの深さのガイド穴をあけます。
- コンクリートアンカー3本をガイド穴に打ち込み、しっかりと固定されていることを確認します。
- カメラを取り付けます。
天井とカメラのすべてのケーブルを接続し、ガイド穴に合わせて取付ネジ3本をドライバーで締めつけて、カメラを固定します。
※必要に応じてベースの切り欠きにケーブルを通して配線してください。
- レンズの方向を調整します。



水平方向に調整する場合は、レンズベース部分を回転させます(①)。

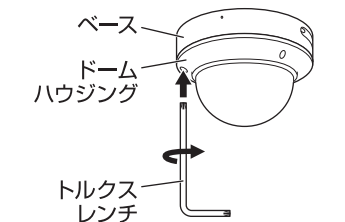
垂直方向に調整する場合は、左右の固定ネジを少し緩め、レンズユニット部の角度を調整します(②)。
調整後、緩めた固定ネジを締め付けてください。

映像の上下方向が正しくなるようレンズユニット部を回転させます(③)。
レンズユニット部の右図位置にある切り欠きが映像での上方向になります。

ご注意

●レンズベースやレンズユニットが回らなくなったら回転を止めてください。無理に動かすとレンズや可動部が損傷する可能性があります。

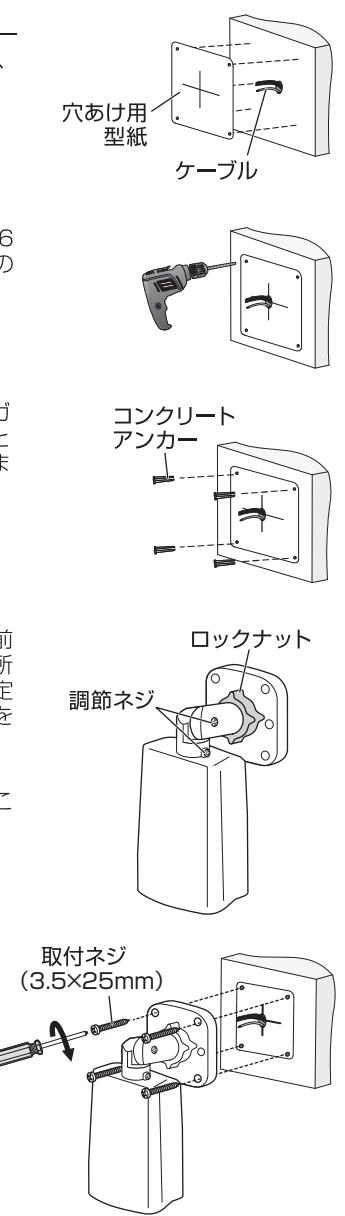
- ドームハウジングを元通りに取り付けます。
ドームハウジングとベースのネジ穴の位置を合わせ、ドームハウジングのネジ3本を締めて固定します。



- カメラの電源を入れ、画像を確認の上、角度や方向等を調整してください。

壁面取り付けの場合

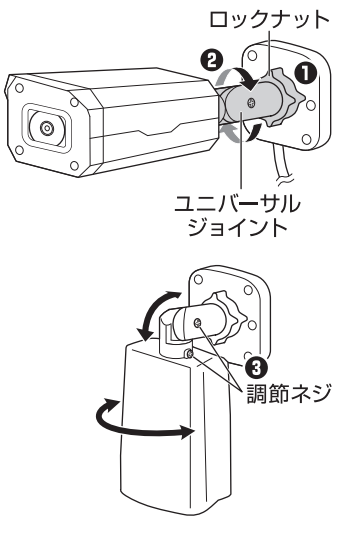
- 穴あけ用型紙の中心を壁のケーブル用穴に合わせて貼り付け、穴にケーブルを通します。
- 穴あけ用型紙の穴位置に、φ6～6.5mmのドリルで30mmの深さのガイド穴をあけます。
- コンクリートアンカー4本をガイド穴に打ち込み、しっかりと固定されていることを確認します。
- カメラを壁面に取り付ける前に、ロックナットと右図2ヶ所の調節ネジを緩め、ネジで固定しやすいようにカメラの角度を調整します。
※詳細なカメラ角度の調整は、カメラ固定後、手順6でおこないます。



- すべてのケーブルを接続し、カメラを壁面に取り付けます。
穴あけ用型紙の穴位置とベースの穴位置を合わせて、取付ネジ4本をドライバーで締めつけて固定します。

- カメラの方向を調整します。

- ロックナット(①)を緩めると、ユニバーサルジョイントを回転させることができます(②)。
- 右図位置にある2ヶ所の調節ネジを緩めると、カメラの角度や方向を調整することができます(③)。
カメラを目的の監視方向に向けます。
- 調整した角度や方向がずれないように注意しながら、ロックナットおよび調節ネジをしっかりと締め付けます。



- カメラの電源を入れ、画像を確認の上、角度や方向等を調整してください。

規格特性

品名	電動可変焦点ドーム型ネットワークカメラ		電動可変焦点バレット型ネットワークカメラ
型番	CNM3CDZ1		CNM3CBZ1
撮像素子	1/3" CMOS 4.0メガピクセル		
有効画素数 (Pixel)	1920(H)×1080(V)		
最低被写体照度 (Lux)	赤外線LED OFF時：0.002 / 赤外線LED ON時：0		
シャッター速度 (s)	1 ～ 1/100,000		
レンズ	2.7mm～13.5mm (電動フォーカス、電動ズームレンズ)		
画角 (°)	98.2～31.3×54.7～18.5		127.7～36.9
DAY&NIGHT	IRカットフィルター自動切換		
映像出力	Full HD 1080p (30fps,25fps) / HD 720p (30fps, 25fps)		
S / N 比 (dB)	56以上		
赤外線照射距離 (m)	最大 40m		最大 50m
防水/防塵性能(保護等級)	IP67		
電源 (V)	DC 12V±25% PoE (IEEE802.3af)		
消費電力 (W)	最大 7W		最大 8.5W
使用湿度範囲 (%RH)	0 ～ 90 (結露なきこと)		
使用温度範囲 (℃)	-30 ～ +60		
寸法 (mm)	φ148×111		86(H)×87(W)×246(D)
質量 (kg)	約0.92		約0.92

この装置は、クラスA情報技術装置です。
この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。
この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

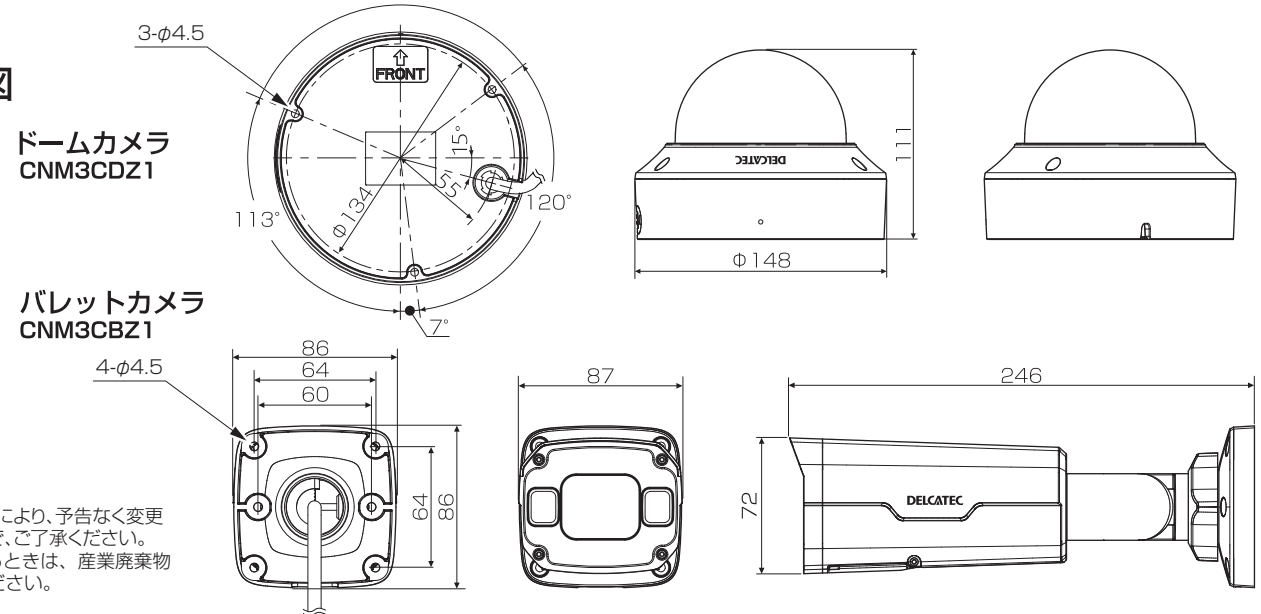
WEBブラウザについて

・本製品の管理画面(WEBブラウザ)に対応しているOSおよびブラウザについては、下記URLまたはQRコードをご確認ください。
https://qa.dxantenna.co.jp/fa_q_detail.html?id=1100



外形寸法図

(単位：mm)



規格および仕様は改良により、予告なく変更することがありますので、ご了承ください。
※この製品を処分するときは、産業廃棄物として処理してください。

保証書

■保証期間

製品の保証書または購入日が確認できる購入証明書(レシート、納品書など)に記載されている購入日より3年間、本製品を本規定に従い無償修理をすることを保証いたします。※消耗品は除く

保証期間
3年間

■無償修理

保証期間中、取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合には、お買い求めの販売店にお持ちいただくか、弊社修理センターに送付してください。弊社修理センターへご送付いただく場合の送料はお客様のご負担となります。また、ご送付いただく際、適切な梱包の上、紛失防止のため受渡の確認できる手段(宅配や簡易書留など)をご利用ください。尚、弊社は運送中の製品の破損、紛失については一切の責任を負いかねます。

■適用の除外

次のような場合には保証期間中でも有償修理となります。

- ①ご使用上の誤り、及び不当な修理や改造による故障および損傷。
- ②お買い上げ後の取り付け場所の移設、輸送、落下などによる故障および損傷。
- ③火災、地震、噴火、洪水、津波などの水害、落雷、その他の天変地異、戦争、暴動による破壊行為、公害、塩害、ガス害または、ねずみや昆虫、鳥などの動物の行為による損傷、指定以外の使用電源(電圧、周波数)や異常電圧による故障および損傷。
- ④塗装の色あせなどの経年劣化や、使用に伴う摩擦などにより生じる外観上の現象。
- ⑤用途以外(例えば車両、船舶への搭載など)に使用された場合の故障及び損傷。
- ⑥製品の保証書または購入日が確認できる購入証明書(レシート、納品書など)を提示、添付されていない場合。
- ⑦保証書にお買上げ年月日、お買い求めの販売店の記入がない場合、または字句を書き換えられた場合。
- ⑧譲渡品、転売品または中古品として本製品をご購入された場合。(リサイクルショップでの購入、オークション購入での中古品を含む)
- ⑨その他、無償修理または交換が認められない事由が発見された場合。

お 買 上 年 月 日	ご住所・ご店名
年 月 日	電話 () -
ご販売店	

DXアンテナ株式会社 | ホームページアドレス <https://www.dxantenna.co.jp/>

(A4-v01d_01)

製品サポート窓口

① 右記の QR を読み取る
② 製品サポートサイトへ

※お問合わせの前に「よくある質問」もあわせてご確認ください。

WEB検索はこちら↓
Dサポ！ 1111 検索

サポートサイトへ
接続します